

# 県内サケ科魚類に発生する細菌性疾病（平成9年度～平成12年度）

誌名	栃木県水産試験場研究報告
ISSN	13408585
著者名	糟谷, 浩一
発行元	[栃木県水産試験場]
巻/号	44号
掲載ページ	p. 32-32
発行年月	2001年3月

農林水産省 農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター  
Tsukuba Business-Academia Cooperation Support Center, Agriculture, Forestry and Fisheries Research Council  
Secretariat



## 県内サケ科魚類に発生する細菌性疾病

(平成9年度～平成12年度)

糟谷 浩一

### 目 的

県内のサケ科魚類に発生する細菌性疾病には、せつそう病・冷水病・ビブリオ病がある。これらの疾病の治療には、水産用医薬品が使用されている。しかしながら、医薬品の使用により薬剤耐性株が出現する可能性があり、的確な魚病指導を行うためには細菌の薬剤感受性について把握しておくことが必要である。そこで、本試験では、これら細菌性疾病の養殖現場での発生状況と分離菌株の薬剤感受性を調査し、魚病指導の一助とすることを目的とした。

### 材料および方法

**病原体の分離** 細菌はBHI寒天培地（ニッスイ）、サイトファーガ寒天培地を使用し、15℃または20℃にて分離培養した。

**薬剤感受性試験** せつそう病原菌 (*Aeromonas salmonicida*)、ビブリオ病原菌 (*Vibrio anguillarum*) について、ディスク法により検査した。

各原因菌の薬剤感受性試験結果

	+++	++	+	-
(せつそう病原菌)				
塩酸オキシテトラサイクリン	4	0	0	0
オキシリン酸	1	1	2	0
フロルフエニコール	4	0	0	0
スルファモノメトキシ	0	1	0	3
スルフィソゾール	3	1	0	0
(ビブリオ病原菌)				
塩酸オキシテトラサイクリン	1	0	0	0
オキシリン酸	1	0	0	0
フロルフエニコール	1	0	0	0
スルファモノメトキシ	0	0	0	1
スルフィソゾール	0	0	0	1

(病理部)

### サイトファーガ寒天培地組成

Bacto TRYPTONE	2g
Bacto YEAST EXTRACT	0.5g
肉エキス	0.8g
CH <sub>3</sub> COONA・3H <sub>2</sub> O	0.8g
CaCl <sub>2</sub> ・2H <sub>2</sub> O	0.8g
Agar	15g
／1ℓ pH7.2-7.4	

### 結 果

平成11年度の細菌性疾病の発生件数は、せつそう病4件、ビブリオ病1件であった。いずれも魚種はイワナであった。各原因菌の薬剤感受性を表に示した。せつそう病原菌については、すべての菌で塩酸オキシテトラサイクリンとフロルフエニコールに高い感受性が認められた。ビブリオ病原菌については、塩酸オキシテトラサイクリン、オキシリン酸およびフロルフエニコールに高い感受性が認められた。